

研究実施のお知らせ

2021年11月5日 ver.1.0

研究課題名

前房挿入と硝子体腔挿入によるチューブ手術の成績比較

研究の対象となる方

2012年4月から2016年4月の間に当院で緑内障と診断され、緑内障チューブシャント手術を受けられた方

研究の目的・意義

緑内障チューブシャント手術は2012年に難治性緑内障の治療のために保険収載されたものです。この手術はチューブを前房に入れる場合と硝子体腔に入れる場合がありますがどのような方法を用いると合併症が少なく、より良い眼圧下降が得られるかを調べる研究です。

研究の方法

既に研究について同意を頂いている過去に行われた手術について手術を受けられた施設における診療録の中から年齢、手術日、性別、術式、病名、糖尿の有無、閉塞隅角の有無、手術既往、術前と術後眼圧、術前後の視力・視野及び角膜内皮データ、チューブの位置に関するデータを調べます。調査データは参加医療機関より研究代表者へパスワード付きのデータファイルによって送付されますが、個人情報には匿名化されており個人が特定されることはありません。

研究の期間

2021年11月（研究許可後）～2022年7月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。解析に用いた個別データを公開する可能性もありますが、その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が共同で行います。

研究代表者（研究で利用する情報の管理責任者）：

千照会千原眼科 千原悦夫

共同研究機関

[研究機関]	[研究責任者]
島根大学医学部附属病院	谷戸正樹
日本赤十字医療センター病院	舟木俊成
順天堂大学病院	松田 彰
東邦大学 大森病院	石田恭子
千原眼科医院	千原悦夫

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2021年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

この研究で集める情報は、研究を始める前から既に誰のものか特定できないようになっています。そのため、ご自身の情報をこの研究に利用してほしくないといった申し出に対してはご要望に沿うことはできませんのでご了承ください。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：谷戸 正樹

機関名:島根大学医学部眼科学講座

住所:島根県出雲市塩冶町 89-1

Tel :0853-20-2284

E-mail: mtanito@med.shimane-u.ac.jp